

高等教育活性化シリーズ 287 (通算 617 回)

2015 年 3 月 17 日 (火)

教育・研修の義務化への実践対応——

研究倫理教育の責務とプログラム展開Ⅲ

～ 科学者の誠実性／社会・生命への責務／e ラーニングの拡充 ～

- ※ [JSPS] 『科学の健全な発展のため』刊行と活用策／倫理教育プログラムの今後の推進施策
- ※ [JST] 研究倫理教育の徹底／e-ラーニングによる研修義務化／不正防止への今後の強化策
- ※ [理化学研] 高い規範の再生／アクションプランの三本柱と工程表／再発防止に向けた 4 規程
- ※ [東京大] 研究規範・倫理アクションプラン／学生・院生、教職員へのプログラム／研究倫理推進室
- ※ [山口大] CITIJapan プロジェクトの導入と実際／教育・研修体制の今後／知財教育の全学展開

● 講師陣 ●

笹川 光 氏	／ (独)	日本学術振興会 研究事業部参事	研究倫理推進室長
安藤 利夫 氏	／ (独)	科学技術振興機構 研究倫理室	参事役
生越 満 氏	／ (独)	理化学研究所 経営企画部次長	研究不正再発防止改革推進室室長
小野 幸嗣 氏	／ (国)	東京大学 研究推進部長	
中村 夢隆 氏	／ (国)	山口大学 学術研究部	研究推進課長

2015 年 3 月 17 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2015 年 3 月 17 日 (火) 10:00~16:40

会場: 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷
駅」麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (消費税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
42,000 円 (送料、消費税込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。

※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。
※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたします。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店	普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店	普通 5829767
三井住友銀行麹町支店	普通 7411658
郵便振替	00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >
※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082
E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 287

研究倫理教育の責務とプログラム展開Ⅲ

2015 年 月 日

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加
支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 11:10	<p>□ [JSPS] 研究倫理教育プログラムの推進施策 ～『科学の健全な発展のために』刊行と今後～ (独) 日本学術振興会 笹川 光</p> <p>1. 研究費の不正使用、研究活動における不正行為とは 2. 研究費の不正使用の防止に関する取組 3. 研究活動における不正行為の防止に関する取組</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:20 } 11:50	<p>□ [JST] 研究倫理教育の徹底と今後の強化策 ～eラーニングによる研修義務化とその実際～ (独) 科学技術振興機構 安藤 利夫</p> <p>1. 研究活動における不正行為について 2. 研究費の不正な使用について 3. JSTにおける不正防止の取り組みについて</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
	<p>□ <ケーススタディ></p>
12:50 } 14:00	<p>A. [理化学研究所] 研究不正再発防止へのアクションプランの取組み ～高い規範の再生に向けて～ (独) 理化学研究所 生越 満</p> <p>1. アクションプランの策定に至る経緯 2. 研究不正再発防止をはじめとする高い規範の再生のためのアクションプラン (1) アクションプランの概要 (2) 三本柱 : ガバナンスの強化 発生・再生科学総合研究センターの解体的出直し 研究不正防止策の強化 (3) 工程表 3. アクションプランの取組み (1) 研究コンプライアンス本部と研究倫理教育責任者 (2) 研究不正再発防止に向けた4つの規程 (3) 研究室主宰者の採用と育成体制の改善 (4) 運営・改革モニタリング委員会 4. 今後に向けて</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:10 } 15:20	<p>B. [東京大] 研究倫理の推進に対する取組み ～高い研究倫理を東京大学の精神風土に～ (国) 東京大学 小野 幸嗣</p> <p>1. これまでの事例から学んだこと 2. 研究倫理推進のための体制等の整備 3. 研究倫理推進のための具体的な取組み</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 } 16:40	<p>C. [山口大] 研究倫理教育の本格的取組み ～CITIJapanプロジェクトの導入/知財教育の全学展開～ (国) 山口大学 中村 夢隆</p> <p>1. CITIJapanプロジェクトの導入 (1) 導入経緯 (2) 研究倫理研修体制の構築 (3) 啓発・周知活動について (4) 今後の展開 2. 知財教育の全学展開 (1) 知財教育の必要性について (2) 学部生から大学院生までの教育プログラム (3) 知財教育の事例</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>